がん化学療法治療計画書 乳癌-⑬ 2021.7

	担当医/指導医	/
	目的	□ 積極的治療 □ 症状緩和
		□ 術前補助 □ 術後補助
	告知程度	□全告知 □部分告知 □未告知
	告知内容	□ 癌(原発・再発・進行)
		□ 抗癌剤を使用する
	─────────服薬指導	□ 依頼する
身長: cm 体重: Kg	加采担等	看護師()薬剤師()
体表面積 m ²	HBV感染スク	フリーニング ロ 確認済み

乳癌 XP+ハーセプチン(毎週)療法				
	$\frac{\downarrow}{\sim (\mathrm{X}) \; 1657 \mathrm{mg/m}^2}$ 1 カ	クール 28日 ペシタビンは、3週間内服後、1週間休薬, パケリタキセルは、Day1、8、15に投与		
投与開始	日 年 月 日	クール予定_		
● カペシタビン	1657mg/m² Day 1~21	計算量: mg 投与量:	mg	
● ハーセプチン	初回 4mg/kg 毎週1回	_投与量: mg 抜き取り量:	mL	
<	体重あたりの換算式> 初回	抜き取り量(mL) = 体重(kg)×4(mg/kg) 2 1(mg/mL)		
● ハーセプチン	2回目以降 2mg/kg 毎週1回	投与量: mg 抜き取り量:	mL	
<	〈体重あたりの換算式> 2回目以降	抜き取り量(mL) = $\frac{$ 体重(kg)×2(mg/kg)}{21(mg/mL)}		
	レ 80mg/m ² Day 1, 8, 15 「X:一般名パクリタキセル、 商品名パクリタキセ		mg	
【投与スケジュール】				
Day1, 8, 15,	1)生食 250mL	1V 90分		
22	ハーセプチン() mg		
パクリタキセルの投与はハーセプチン投与24時間後に実施し、良好な認容性が確認された後は、2回目以降の投与では、ハーセプチン投与直後に実施する				
	1) グラニセトロン点滴静注液 3mg 100mL	1V		
	デキサート 1.65mg	5A 30分		
	ファモチジン静注20mg	1A		
Day1, 8, 15	ポララミン 5mg	1A		
(初回 : Day2, 8, 15)	2)生食 100mL	1V 30分		
0, 13)	プリンペラン 10mg	2A		

1V

)mg

1V

3) 5%ブドウ糖液 250mL

パクリタキセル

4) 生食 50mL

1時間 滴下速度調節必要